

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 TEL(06) 586-3200
南部支社 〒590 堺市住吉橋町2-2-19 TEL(0722)38-1131
北部支社 〒569 高槻市藤の里町39-6 TEL(0726)71-6361
東部支社 〒578 東大阪市稲葉2-3-17 TEL(0729)62-1131
兵庫支社 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 TEL(078)360-3100
京都支社 〒600 京都市下京区中堂寺栗田町番地 TEL(075)311-7381
奈良支社 〒631 奈良市学園北2-4-1 TEL(0742)44-1111
和歌山支社 〒640 和歌山市本町1-5 TEL(0734)31-2461
兵庫西支社 〒670 姫路市神屋町4-8 TEL(0792)85-2221
豊岡支社 〒668 豊岡市三坂町6-57 TEL(0796)29-2221
滋賀支社 〒525 草津市追分町荒塚680-1 TEL(0775)62-5311
滋賀東支社 〒522 彦根市大東町12-11 TEL(0749)22-3131
長浜支社 〒526 長浜市南呉服町3-4 TEL(0749)62-7171
本社・ガスビルサービスセンター 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を開め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社
またはサービスショップにご連絡ください。

93.10.506(01)C

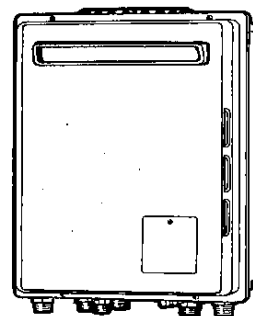
ガス風呂給湯器

わくわく16

91-722型
91-723型
91-724型
91-725型
91-726型
91-727型

型式名/YM1601R
YM1601RG
YM1601RQ
YM1601RM
YM1601FT

取扱説明書



99大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買求めの販売店に
お問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器を、お求めいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

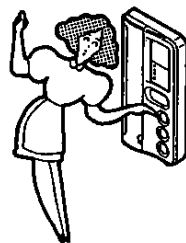
● 特長・機能のご紹介	1～3
● 必ずお守りください	4～6
● 各部のなまえ	7～10
● 器具本体・循環アダプタ	7
● メインリモコン	8
● 風呂リモコン	9
● サプリリモコン	10
● 運転方法と操作手順	11
● 使いかた	12～27
● 操作前の準備と確認	12
● 給湯・シャワー	13
● お風呂のしたく(お風呂を自動で沸かす前に)	14～15
● 自動運転のしかた	16～17
● 「あつく」機能	18
● 「ぬるく」機能	19
● 「たし湯」機能	20
● 現在時刻の合わせ方	21
● 予約時刻の合わせ方	22
● 予約運転のしかた	23～24
● ちょっとあつめの自動運転	25
● ちょっとぬるめの自動運転	26
● ちょっと多めの自動運転	27
● 凍結予防のしかた	28～29
● 日常の点検とお手入れ	30
● 故障かな?と思ったら	31～35
● 仕様	36
● 寸法図	37～40
● アフターサービス	41

特長・機能のご紹介

バスルーム

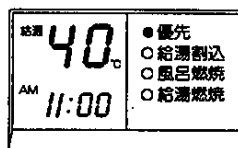
自動運転

スイッチ1つでお風呂が沸かせます!



PI6～PI7参照

シャワーの温度や時間が、見やすいデジタル表示!



バスルーム

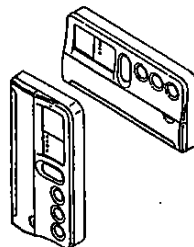
自動運転

ふたをしたまま自動お湯はり!



PI6～PI7参照

リモコンは斬新なフォルム!



特長・機能のご紹介

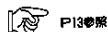
キッチン

給湯

食器の油污れも、おっくうな冬場の洗ひものも、温かいお湯でイッキョに解決！



●キッチンでの給湯のしかたについては

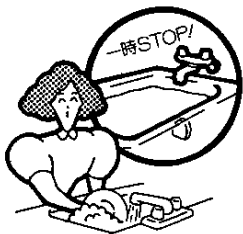


P13参照

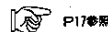
キッチン 洗面所

お風呂・給湯

お風呂の自動運転(お湯はり)実行中でも、給湯は優先してお使いいただけます！



●お風呂と給湯・シャワーの同時使用については



P17参照

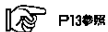
洗面所

給湯

寒い朝でも、温かいお湯で、気持ちをしフレッシュ/一日のはつらつスタート!!



●洗面所での給湯のしかたについては



P13参照

バスルーム

シャワー

オールシーズン好きなき、好きなきたっぷりのお湯で、さわやか全身シャワー！



●バスルームでのシャワーのしかたについては

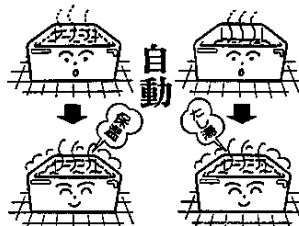


P13参照

バスルーム

自動保温たし湯

自動運転後、(4時間以内なら)お湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動でたし湯。いつも快適なお風呂に入れます！



●お風呂の自動保温たし湯については

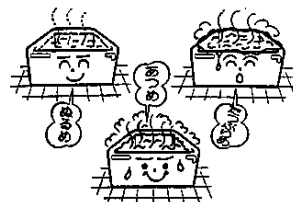


P16~P17参照

バスルーム

お風呂

気分にあわせてちょっと「ぬるめ」「あつめ」「たっぷり」のお風呂が楽しめます！



●お風呂については



P16~P20参照

バスルーム

予約運転

お好きな時間にお風呂が沸きあがっている「お風呂予約」ができます！



●予約運転については



P23~P24参照

必ずお守りください

●使用ガスの確認

器具本体前面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを必ず確かめてください。

- 都市ガス13A
- LPガス用

型式名

ガスの種類およびグループ

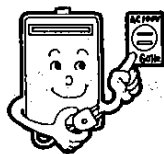
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



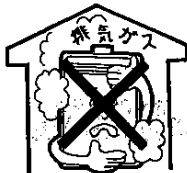
●使用電源の確認

この器具はAC100V、60Hz用です。器具の銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。



●器具の設置

- 器具の設置・工事は、お買求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用ください。



●用途について

台所・シャワー・洗面などの給湯および風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

●やけどのご注意

- 使用中および消火直後は、器具の排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。
- シャワーなど使用後すぐにお使いになる場合は、手で湯温を確認してからお使いください。(一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。)



●火災予防

- 壁や可燃物等から十分離れている場所に設置してください。
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
★特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



●補助用具について

この器具の付属品・補助用具以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

●洗剤・入浴剤について

入浴剤や洗剤(特にイオウ・酸・アルカリを含んだ商品)は、器具の性能低下や熱交換器等の腐食の原因になる場合がありますので、入浴剤の説明文及び含有成分等を十分確かめ、器具への悪影響が無いものをご使用ください。



●日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れを、必ず行ってください。
- 詳しくは30ページをお読みください。

●飲用にお使いのとき

器具内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

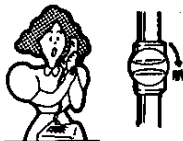
●長時間使用しない場合

必ずガス栓を閉め、電源プラグを抜いて、29ページの(器具の水を抜く方法)を参照のうえ、水抜きを行ってください。

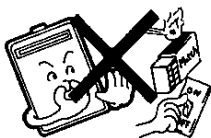
必ずお守りください

●ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス栓を閉め、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

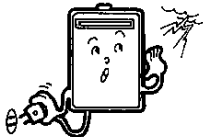


- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具に触れたり（スイッチの入切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。



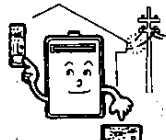
●落雷のおそれがある時

- 落雷による一時的な過電流で、電子部品が故障することがありますので、雷が発生しているときは、ご使用を中止して、すぐに電源プラグを抜いてください。
- その後、雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



●停電時の処置

- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。12～27ページの「使いかた」にしたがって操作してください。
- 時刻・予約時刻ともリセットされますので通電後21・22ページ「使いかた」に従って再度、時刻・予約時刻を合せてください。また、お風呂の沸きあがり温度もリセットされますので、14ページ「使いかた」に従って調節してください。



●断水時の処置

- 断水時は給湯栓を開き、リモコンの運転スイッチを切っておいてください。
- 再通水したときは、12～27ページの「使いかた」にしたがって操作してください。

●異常時の処置について

器具が使用中にふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、あわてないで、運転スイッチを「切」にして、ガス栓を閉じ十分な点検をしてください。

- 詳しくは31～35ページの「故障かな?とと思ったら」の項をお読みください。

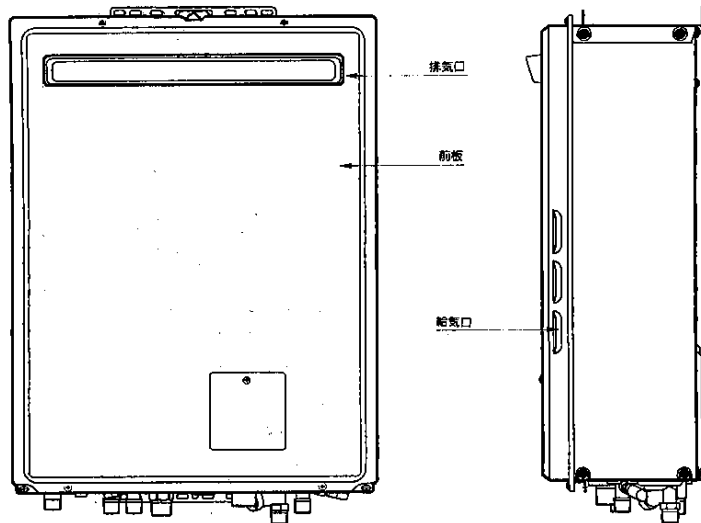
●凍結について

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。

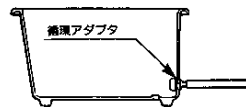
- 詳しくは28・29ページの「凍結予防のしかた」をお読みください。

各部のなまえ

器具本体 (31-722型の場合)

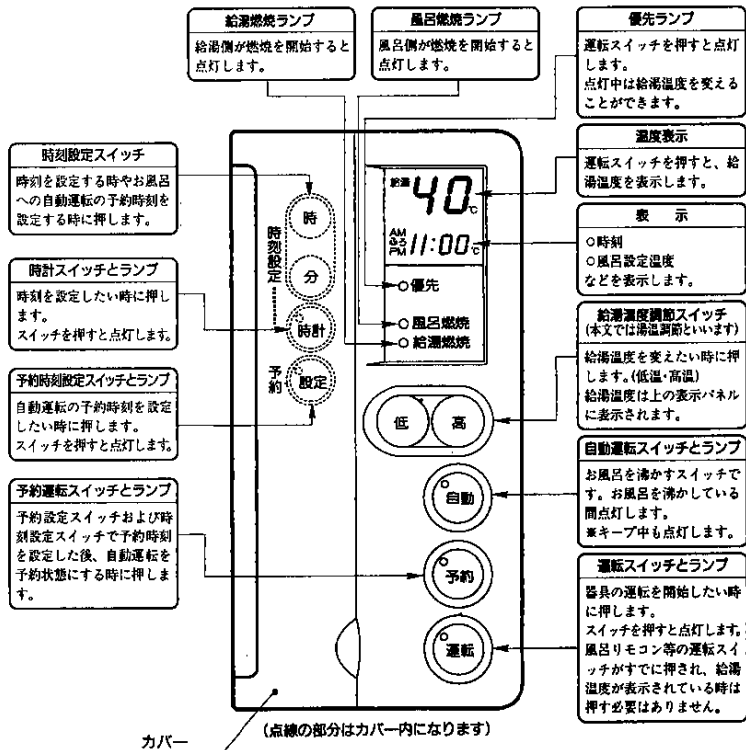


循環アダプタ



各部のなまえ

メインリモコン



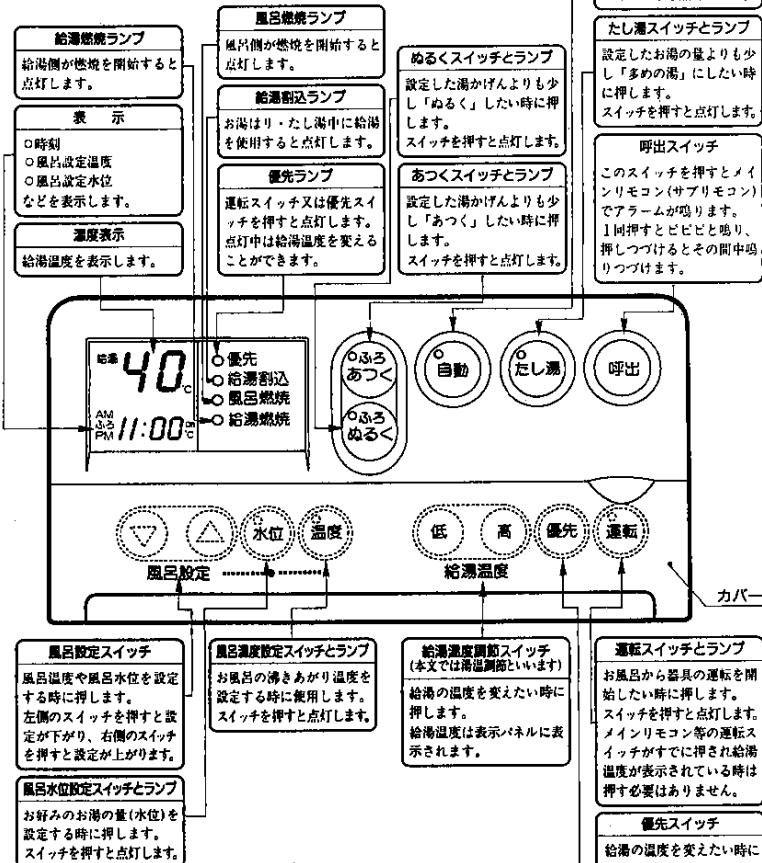
水をかけないで!



物を当てないで!

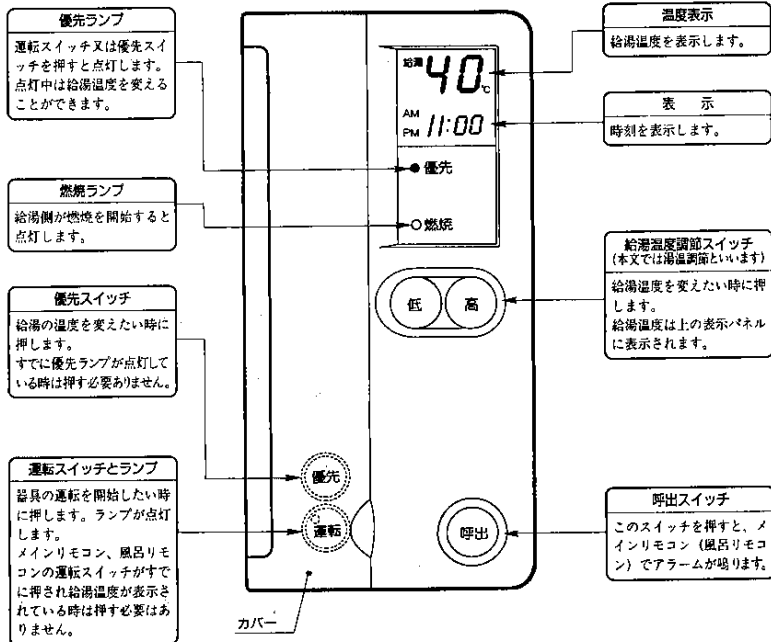


風呂リモコン



各部のなまえ

サブリモコン (別売部品)



運転方法と操作手順

リモコン操作方法

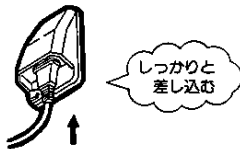
機能	使用するリモコン	リモコン操作手順	参照ページ
① 給湯・シャワー温度設定	メインリモコン 風呂リモコン サブリモコン	運転入 → 優先ランプ点灯確認 → 低 高 設定	13
② 風呂の自動運転	メインリモコン 風呂リモコン	運転入 → 自動入	16・17
③ 風呂あつく	風呂リモコン	運転入 → あつく入	18
④ 風呂ぬるく	風呂リモコン	運転入 → ぬるく入	19
⑤ 風呂たし湯	風呂リモコン	運転入 → たし湯入	20
⑥ 風呂の予約運転	メインリモコン	運転入 → 予約入 予約時刻確認	23・24
⑦ 現在時刻設定	メインリモコン	時計入 → 時 分 設定	21
⑧ 予約時刻設定	メインリモコン	予約設定入 → 時 分 設定	22
⑨ 風呂温度設定	風呂リモコン	温度入 → ▼ ▲ 設定	14
⑩ 風呂水位設定	風呂リモコン	水位入 → ▼ ▲ 設定	15

使いかた

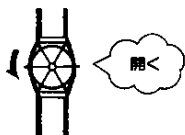
初めてお使いいただくときに

●操作前の準備と確認

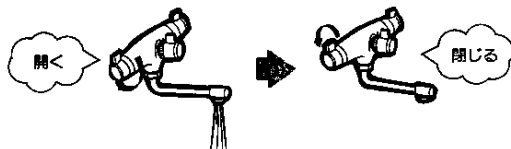
1 電源プラグをコンセントに差し込む



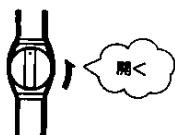
2 給水元栓を全開にする



3 給湯栓から水の出ることを確認



4 ガス栓を全開にする



使いかた 給湯・シャワー

メインリモコン、風呂リモコン、サブリモコンで操作ができます。

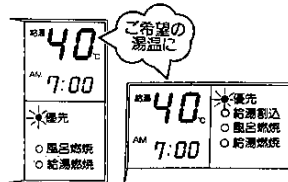
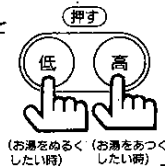
1 運転スイッチを押す

- リモコンの運転スイッチを押す。(メインリモコン、風呂リモコン、またはサブリモコン(別売部品)いずれかの運転スイッチを押す。)



2 湯温調節スイッチを押す

- 優先ランプの点灯を確かめた後、お好みの温度に湯温調節を行ってください。

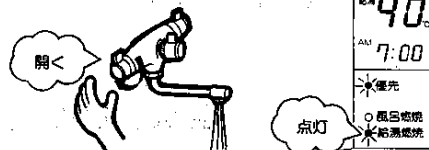


湯温調節範囲	
設定できる温度は37~50°Cまで、1回押すと1°Cづつ、また押し続けると60°Cまで連続で変化します。それ以上は、60°Cと75°Cです。	
60°C・70°C設定時はアラーム報知で「高温」であることをお知らせします。	

- 使用するリモコンの優先ランプが点灯していない時は、優先スイッチを押して、優先ランプを点灯させてください。(メインリモコンに優先ランプを点灯させるには、メインリモコンの運転スイッチの「切」「入」の操作を行ってください。風呂またはシャワーなど使用中の時は、この操作はしないでください。)

- 給湯温度を75°Cに設定している時に、優先スイッチおよび運転スイッチの「切」「入」の操作をしますと、60°C設定になり、アラーム報知で、「高温」であることをお知らせします。

3 給湯栓を開く(点火)



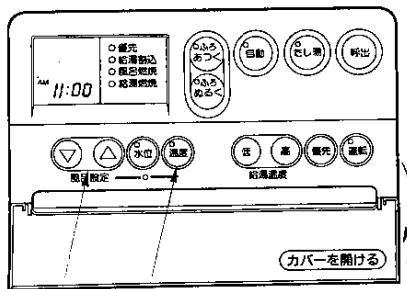
- パネルに表示される温度は設定温度です。実際に出てくるお湯の温度とは配管条件等により多少異なることがあります。

4 お湯を止める

- 給湯栓を閉じる(消火)。燃焼ランプは消灯します。

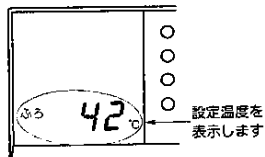
使いかた お風呂のしたく (お風呂を自動で沸かす前に)

1 お風呂の沸き上がり温度の調節 (風呂リモコンで操作します)



●風呂リモコンのカバーを開けます。

①温度スイッチを押す。



②温度を変えたいときは、温度スイッチを押して10秒以内に風呂設定スイッチを押す。

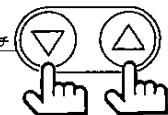
▽ 湯温をゆるくしたいとき

△ 湯温をあつくしたいとき

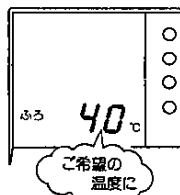
●設定できる温度は、37℃～48℃の12ステップです。1℃きざみで1回押すと、1℃づつ変化し、押しつづけると連続的に変化します。(温度表示は目安です)



押す



(湯温をゆるくしたいとき) (湯温をあつくしたいとき)

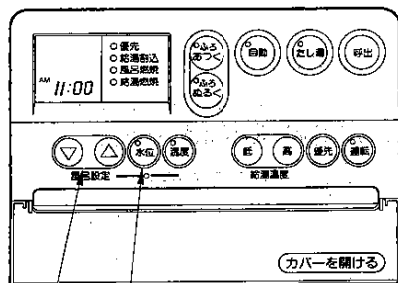


●数秒後設定表示は自動的に消えます。

●温度確認は再度温度スイッチを押す。

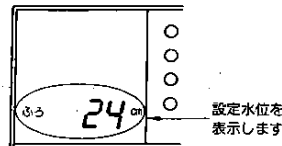
- お買い上げいただいたときには沸き上がりの温度は42℃に設定しています。このままでもご使用になれますが、お好みによって温度を変えることができます。
- 沸き上がり温度は浴槽により多少異なります。表示温度は目安としてお使いください。

2 お風呂のお湯の量(水位)の調節 (風呂リモコンで操作します)



●風呂リモコンのカバーを開けます。

①水位スイッチを押す。



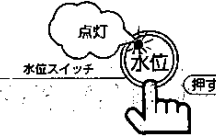
●設定できる水位は循環アダプタ中心から約9cm～約99cm(3cmきざみ)の30段階です。(水位表示は目安です)

②水位を変えたいときは、水位スイッチを押して、10秒以内に風呂設定スイッチを押す。

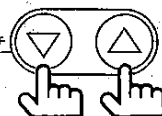
▽ 水位を低くしたいとき

△ 水位を高くしたいとき

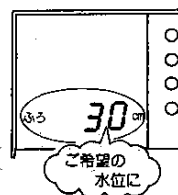
●風呂設定スイッチを1回押すことに水位は約3cm変化します。また、押しつづけると連続的に水位が変わります。



押す



(水位を低くしたいとき) (水位を高くしたいとき)

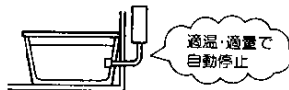


●数秒後に水位表示は自動的に消えます。

●水位確認は再度水位スイッチを押す。

- お買い上げいただいたときには水位は、循環アダプタ中心から約24cmに設定されています。このままでもご使用になれますが、お好みによって水位を変えることができます。
- 設定された水位は、運転スイッチを「切」った後でも、また停電後でも、器具が記憶していますので、水位を変更される時以外、操作は必要ありません。

使いかた 自動運転のしかた

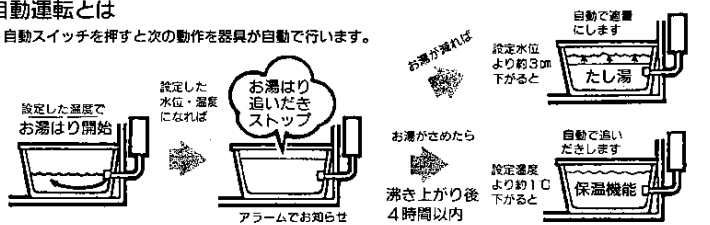


- 浴槽の排水栓を閉じてください。
- 浴槽にフタをしてください。

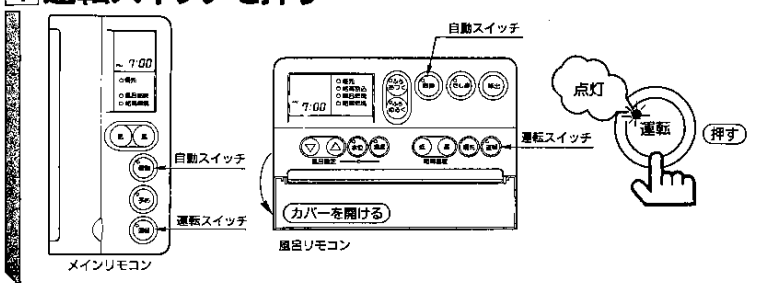
知っておきたいこと

自動運転とは

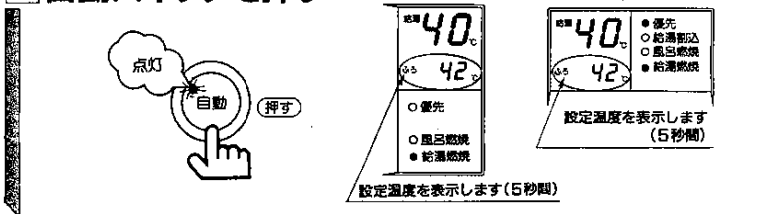
- 自動スイッチを押すと次の動作を器具が自動で行います。



1 運転スイッチを押す (メインリモコンまたは風呂リモコンで操作できます)



2 自動スイッチを押す



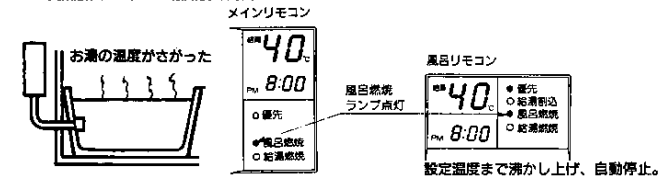
3 お風呂が沸きあがるとアラームが鳴り自動でストップします

- 設定された温度で、設定された水位までお湯はりし自動的に停止します。(停止しますと各リモコンからアラームでお知らせします。)
- 同時に自動保温、自動たし湯の準備になります。
- 自動ランプは自動保温たし湯中(4時間)点灯しています。

4 お湯の温度がさがったら自動的にあたためます

お湯の温度がさがったら、約30分ごとに自動的にあたためる(保温機能)がついています。

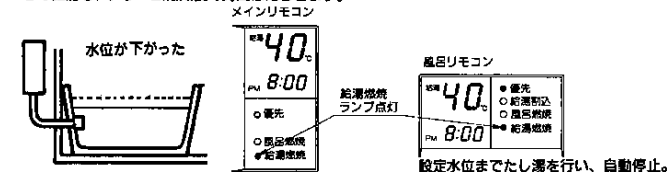
- この機能は、アラーム報知後4時間はたつきません。



5 お湯が減れば自動的にたし湯します

お湯が減ると自動的に元の量(水位)までたし湯します。

- この機能も、アラーム報知後4時間はたつきません。



6 アラーム報知後4時間たつと自動ランプが消えます

- 自動保温、自動たし湯が止まります。



注意

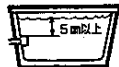
- 途中で停止させたいときには、メインリモコンまたは風呂リモコンの自動スイッチを押してください。
- 前回の残り湯を使用して、お風呂を沸かす場合は、自動スイッチを押して(自動運転で)沸かしてください。
- 残り湯が設定水位以上あるときは、設定水位にはなりません。
- 「自動運転」(お湯はり)中に給湯・シャワーを使用されると、自動運転(お湯はり)が一時停止します。この時、風呂リモコンの「給湯部込みランプ」が点灯します。

使いかた「あつく」機能



- ちょっと「あつく」のお風呂にしたいときに使います。

ご注意 浴槽に湯(水)が入っているか確認してください。

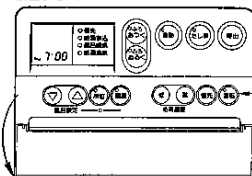


浴槽の湯(水)が循環アダプタより5cm以上、上にあるようにしてください。

- 風呂リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押す

風呂リモコン



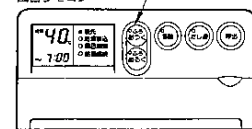
運転スイッチ



(カバーを開ける)

2 あつくスイッチを押す

風呂リモコン



あつくスイッチ

あつくランプが点灯して、お風呂の追いだきをはじめます。



3 停止

- 現在の湯温より約2℃お湯の温度が上がり、自動的に止まります(浴槽の湯の温度が設定温度よりも2℃以上低いときは設定温度で止まります。)(あつくランプ消灯)

- 途中で停止するときは、「あつく」スイッチを押してください。



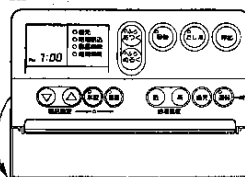
- 自動保温中にあつくスイッチを押した場合、自動ランプは点灯したままです。

使いかた「ぬるく」機能

- ちょっと「ぬるめ」のお風呂にしたいときに使います。
- 風呂リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押す

風呂リモコン



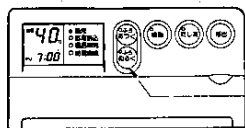
運転スイッチ



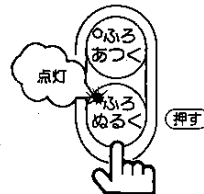
(カバーを開ける)

2 ぬるくスイッチを押す

風呂リモコン



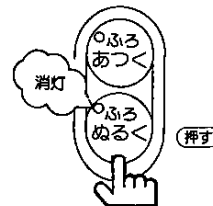
ぬるくスイッチ



3 停止

- 浴槽内に約10Lの水が注水され、自動的に停止します。(ぬるくランプ消灯)
- 途中で停止するときは、ぬるくスイッチを押してください。
- 終了後はかくはんのため、ポンプが約30秒間回ります。

- 自動保温中にぬるくスイッチを押した場合、自動ランプは点灯したままです。



ご注意

「ぬるく」は給湯(シャワー)使用中には使用できません。給湯(シャワー)使用中に「ぬるく」を押しても受けつけません。また、「ぬるく」中に給湯を使用されると「ぬるく」は解除されます。「ぬるく」使用中または「ぬるく」使用後に給湯(シャワー等)を使用すると一時湯温変化することがあります。

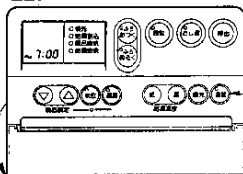
使いかた 「たし湯」機能



- ちょっとお風呂の湯の量を多くしたいときに使います。
- 風呂リモコンで操作します。

1 運転スイッチを押す

風呂リモコン



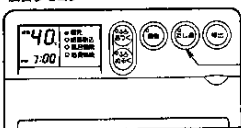
運転スイッチ



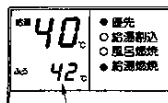
(カバーを開ける)

2 たし湯スイッチを押す

風呂リモコン



たし湯スイッチ



- 優先
- 給湯断水
- 風呂燃焼
- 給湯燃焼

たし湯スイッチを押すと設定温度を表示します(5秒間)

3 停止

- 風呂設定温度のお湯を約3mlたし湯をして自動で止まります。(たし湯ランプ消灯)
- 途中で停止するときには「たし湯」スイッチを押してください。

- 自動保温中にたし湯スイッチを押した場合、自動ランプは点灯したままです。
- 「たし湯」中に「給湯」を使用すると、給湯断水ランプが点灯し、「たし湯」は、一時停止します。

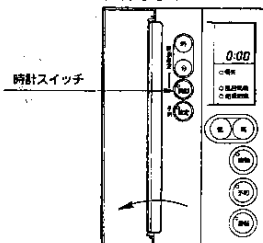


使いかた 現在時刻の合わせ方

ご注意 約5分以上の停電後は、メインリモコンの時計表示が0:00表示に戻り、他のリモコンの時計表示は消えます。再度時計合わせをしてください。

1 時計スイッチを押す

メインリモコン



時計スイッチ

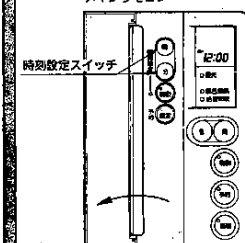


(カバーを開ける)

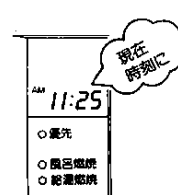
時計スイッチを押すと、時計表示が12:00となります。

2 時刻設定スイッチ(時、分スイッチ)を押す

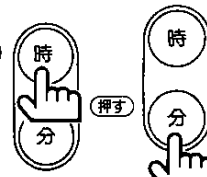
メインリモコン



時刻設定スイッチ



現在時刻に



(1分範囲に変化します)

● 時分スイッチを押して現在時刻に合わせてください。

● 時分スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

● AM(午前)とPM(午後)を間違わないようにご注意ください。

ご注意 ●時刻設定の操作を10秒以上おこなわないと、自動的に時間をきざみ始めます。
●メインリモコンで時刻を設定すると、風呂リモコン・サブリモコンにも時刻が表示されます。

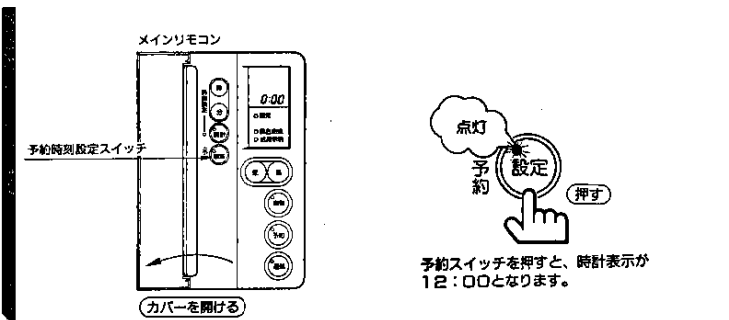
使いかた 予約時刻の合わせ方

●お風呂の沸き上がり時間を設定できます。

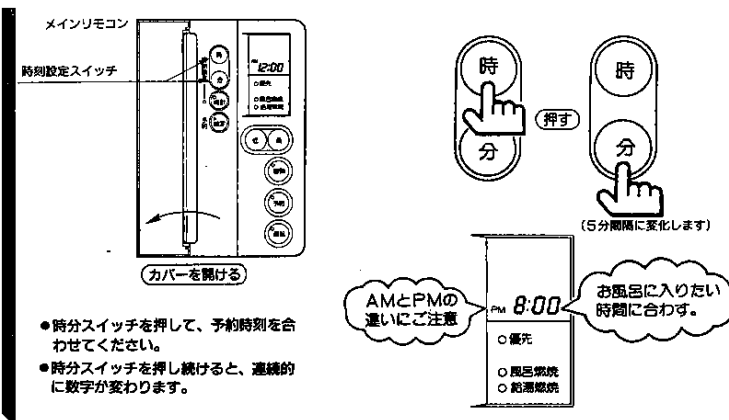
ご注意 約5分以上の停電後は、メインリモコンの時計表示が0:00表示に戻り、他のリモコンの時計表示は消え予約時刻も解除されます。再度現在時刻・予約時刻合わせをしてください。

●メインリモコンで操作します。

1 予約(時刻設定)スイッチを押す



2 時刻設定スイッチ(時、分スイッチ)を押す



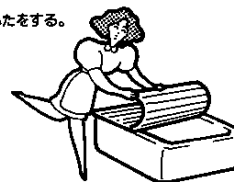
ご注意 ●予約時刻設定の操作を10秒以上おこなわないと、自動的に時間をきざみ始めます。

使いかた 予約運転のしかた

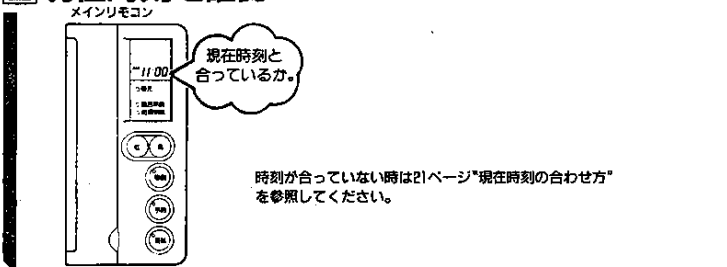
1 予約運転の準備と確認

●排水栓を閉じる。

●お風呂のふたをする。



2 現在時刻を確認

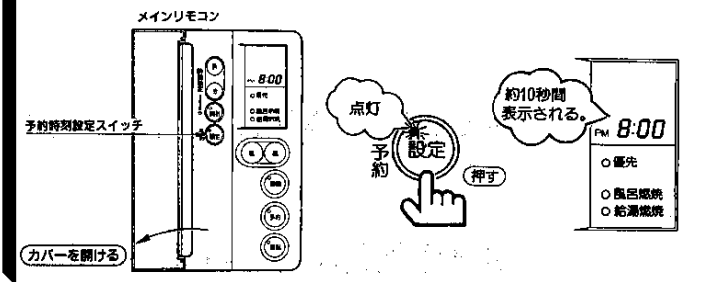


3 予約時刻を設定する

●22ページ“予約時刻の合わせ方”を参照してください。

(お風呂に入りたい時刻に合わせてください。)

●何時に設定したかを確認する場合は予約時刻(設定)スイッチを押してください。
(画面に約10秒間表示されます。)



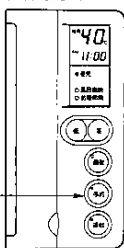
使いかた 予約運転のしかた

4 運転スイッチを押す



5 予約スイッチを押す

メインリモコン



約5秒間表示される

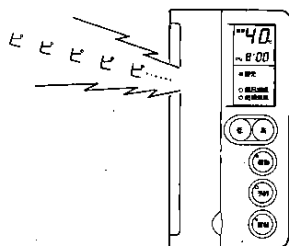
- 優先
- 風呂燃焼
- 給湯燃焼

予約ランプが点灯し、画面に予約時刻が5秒間表示されます。予約中は運転スイッチを切らないでください。予約時間の約90分前に約10Lのお湯はりを行います。これは残り湯の確認のためで異常ではありません。

●予約時間前に自動運転に入ります。(予約ランプ点灯、自動ランプ点灯)

6 予約運転完了になるとアラームが鳴り、自動運転の(お風呂の沸き上がり)完了を知らせます

メインリモコン



注意

●予約運転中(お湯はり)に給湯を使用しますと、予約運転が一時停止するため、自動運転完了が遅れます。

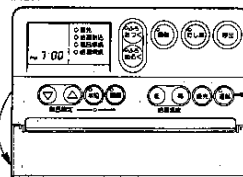
●アラーム報知後、4時間の自動保温、自動たし湯準備に入ります。
●自動ラップは、自動保温たし湯中(4時間)点灯しています。

使いかた ちょっとあつめの自動運転

●ふだんのお風呂の沸かしあげ温度よりも、ちょっとあつめに沸かしあげたい時にご利用ください。

1 風呂リモコンの運転スイッチを押す

風呂リモコン



運転スイッチ

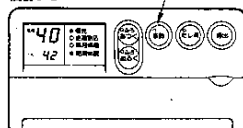


カバーを開ける

2 自動スイッチを押す

風呂リモコン

自動スイッチ

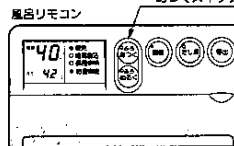


●設定温度を表示します。(5秒後時計表示に戻ります)

3 あつくスイッチを押す

風呂リモコン

あつくスイッチ



- 優先
- 給湯前込
- 風呂燃焼
- 給湯燃焼

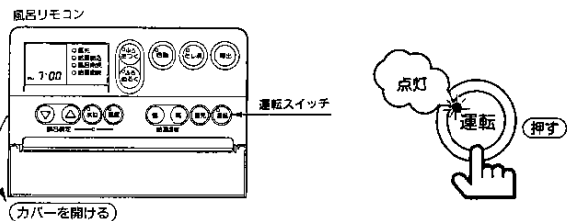
●設定温度プラス2℃を表示します。(5秒後時計表示に戻ります)

●ふだんの沸かしあげ温度よりも、約2℃高くなります。

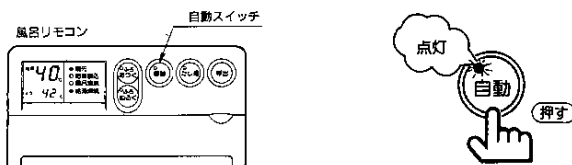
使いかた ちょっとぬるめの自動運転

●ふだんのお風呂の沸かしあげ温度よりも、ちょっとぬるめに沸かしあげたい時にご利用ください。

1 風呂リモコンの運転スイッチを押す

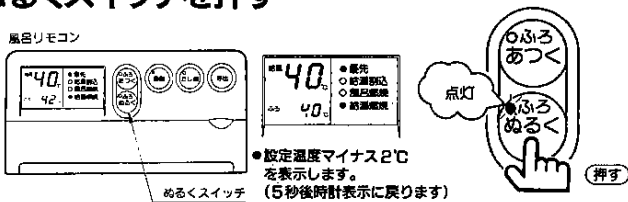


2 自動スイッチを押す



●設定温度を表示します。(5秒後時計表示に戻ります)

3 ぬるくスイッチを押す

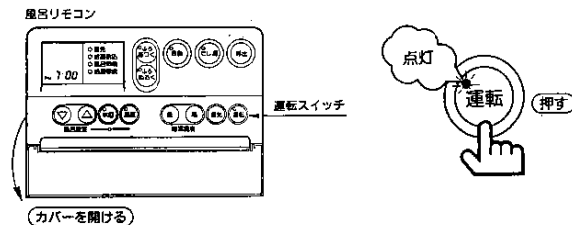


●ふだんの沸かし上げ温度よりも、約2℃低くなります。

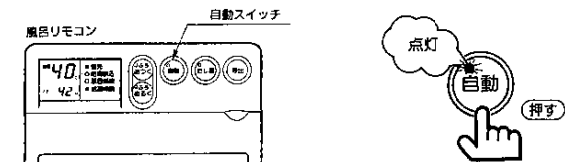
使いかた ちょっと多めの自動運転

●ふだんのお風呂のお湯の量(水位)より、ちょっと多めに沸かしあげたい時にご使用ください。

1 風呂リモコンの運転スイッチを押す

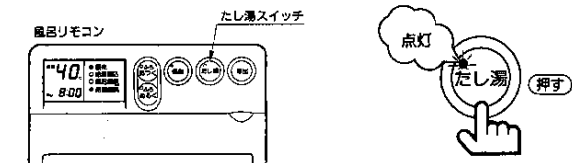


2 自動スイッチを押す



●設定温度を表示します。(5秒後時計表示に戻ります)

3 たし湯スイッチを押す



●ふだんの水位よりも3cm高く沸かしあげます。

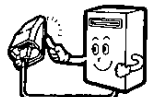
凍結予防のしかた

- 凍結すると器具や配管が破損し高額の修理費がかかる場合があります。凍結による修理は、保証期間内でも有料となっております。
- 凍結したまま使用されますと器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。



暖かい場所で
ご使用のお客様も
ぜひお読みください。

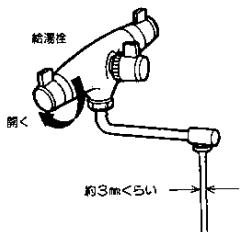
A 凍結予防ヒータとポンプ 運転による方法



- この器具には、外気温が下がってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（風呂側）が組込まれています。
- リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
- 外気温が極端に低く（庭のたまり水など凍るおそれのある日）になりますと、この凍結予防ヒータだけでは効果ありません。このような場合は、次の図またはCの方法を行ってください。

B 水を流す方法 （一般的な方法）

- この場合は器具本体だけでなく、給水・給湯配管バルブ類の凍結予防もできます。ただし、風呂側はポンプ運転により凍結を予防しますので、Aの方法と同様電源プラグをコンセントから抜かないでください。



- ガス栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にして、給湯栓を開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本分ぐらい)の水を流してください。(特に寒い日は多めに)
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をお確かめください。

ご注意

- ①電源プラグを抜くと作動しません。器具の水を抜く凍結予防を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。
- ②浴槽の残り湯は、捨てないでそのままにしておいてください。また、水位は循環アダプタ上より5cm以上、上にある状態にしてください。

C 器具の水を抜く方法 （外気温が極端に低くなる場合 や、入居前、長期不在の場合）

- この方法は、給水・給湯配管の凍結予防はできませんが、器具の破損を予防するには最もよい方法です。
1. 給湯側の水抜き
(給湯側から先に水抜きを行ってください)
①運転スイッチを「切」にしてください。
(電源プラグはまだ抜かないでください)
②ガス栓①を閉じる。
③給水元栓②を閉じる。
④給湯栓③をすべて(シャワーなども)全開にする。
⑤給水水抜き栓④、給湯水抜き栓⑤を開けてはすす。
 2. 風呂側の水抜き
⑥浴槽の水を排水する。(浴槽の排水栓を抜く)
⑦風呂リモコンの運転スイッチを押し、運転ランプ点灯後あつくスイッチを押す。

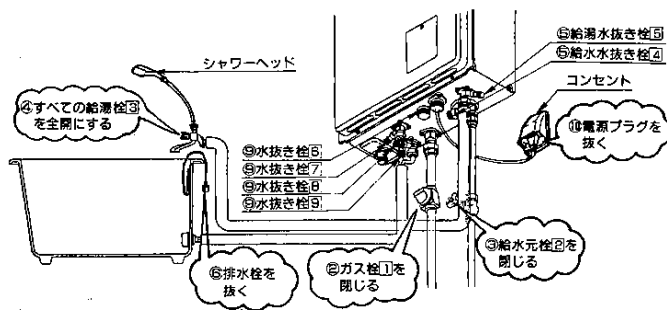
(あつくランプ点灯)

循環アダプタから水がでることを確認してください。

(2階浴槽など、浴槽が器具より高い位置にある場合は、風呂水抜き栓⑦⑧を開けてはすすし、あつくスイッチを押し、(あつくランプ点灯)、風呂水抜き栓より水がでてくることを確認してください。)

- ⑧⑦の排水の完了の確認後、運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する。
- ⑨風呂水抜き栓⑥⑦⑧⑨を開けてはすすします。
- ⑩電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください。)

- ①風呂の水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。
- ②以上の操作で、器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



●再度ご使用のときの手順

- ①給湯栓③、水抜き栓④⑤⑥⑦⑧⑨すべてをしめる。
- ②給水元栓②をあげ、すべての給湯栓から水が出るのを確認する。

- ③電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「入」にする)
- ④ガス栓①をあけてください。
- ⑤自動運転(16ページ参照)を行って、循環アダプタから湯が出るのを確認後、運転スイッチを押し停止させる。

日常の点検とお手入れ

●点検・手入れの際の ご注意

- ①点検・手入れの前には必ずガス栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行ってください。
- ②器具の前板などははずさないでください。
【器具やリモコンは絶対に分解しないでください。】

●点検

- ①器具の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- ②排気口や給気口をふさいでいませんか？



●お手入れ

①前板のそうじ

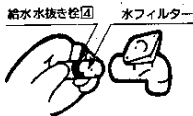
器具本体・リモコンの表面が汚れたときは、やわらかい布に台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。



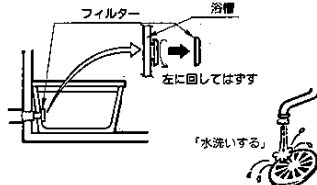
リモコンの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。

②水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元栓を開め、給水水抜き栓④を左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。



- 循環アダプタのフィルターのそうじ
浴槽内の循環アダプタのフィルターを外し、月に1回程度そうじしてください。
※なおフィルターのそうじをしたあとは必ずもとのように取り付けてください。



●点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後には、運転スイッチを、「入」にして、給湯栓を開き、器具が正常に作動しているか確認してください。万一、異常音、異臭を感じられたときは、お買求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●定期点検のおすすめ

- ①ご使用上支障がない場合でも、安全により長くご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
- ②本製品は一般家庭用の製品です。業務用にご使用の場合は器具を正常にお使いいただくために、定期点検（年2回程度）をお受けください。（有償）
詳しくは、お買求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな？と思ったら

●こんな場合は異常ではありません。

こんな場合	理 由
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。	器具から給湯性までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
燃焼ランプが点滅する。	初回点火時や長時間使用しなかった後は、ガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。 一旦給湯栓を閉じて約5秒間待ち再び給湯栓を開いてください。
給湯栓を絞らずに水になった。	この器具は、水量が2.5リットル/分以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない。	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯性をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える。	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気部から白煙が出る。	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
出湯停止後もファンの回転音が続く。	再使用時の点火をより早くするため約7分間回転しています。
冬期など寒いとき遠いところのポンプが自動的に動く。	凍結予防のため、ポンプの自動運転を行います。
自動運転時途中でお湯はりが停止する。	これは浴槽内の残り湯の検出を行っているため、間欠運転の状態になっているためです。
スイッチを「切」にしてもポンプが回わる。	運転スイッチ及び自動運転スイッチ、たし湯スイッチを「切」にしたとき、(器具内にあるタンクの水抜き)水抜きを行うためです。
かくはんのためポンプが回わる。	「ぬるく」運転終了後、かくはんのためポンプが約30秒間回ります。
運転スイッチを「切」にすると循環口より空気が出てくる。	器具内にあるタンクの水を冬期凍結予防のため、ポンプにより浴槽内へ排水するためです。
お湯はり、追いだし開始時、「ポコッ」という音が出る。	配管中の空気が循環アダプタより1～2秒出てくる音で異常ではありません。
予約ランプが消えている。	予約スイッチを入れても予約した時刻になる前に自動、あつく、ぬるく、たし湯スイッチを押すと、予約は解除されますのでご注意ください。
パネル表示が0:00になっている。	停電後、再通電するとパネルの時計表示が0:00になります。再度設定をしてください。
給湯設定温度が75℃のとき、運転スイッチの「OFF」「ON」または運転スイッチの「切」「入」によって80℃に変わる。	それぞれのリモコンは前回設定した給湯温度を記憶していますが、75℃は、安全のために60℃に記憶します。
自動運転を使用していないのに浴槽に少し水が流れる。	ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを回わしています。

▼日常の点検とお手入れ ▼故障かな？と思ったら

故障かな?と思ったら



故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

故障表示(OKモニター)しない不具合と、その処置方法

こんなとき (現象)	給湯火しにくい。 給湯を聞いても着火しない。	使用中に消火した、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	高温の湯が出ない。	優先ランプが点灯しない。	異常な音をたてて燃焼する。	風呂が沸かない、沸きがおそい。	湯圧低下し弁から湯時水がでる。	処置方法	参照ページ
お調べ いただくこと (原因)										
ガス栓の開きふじゅうぶん。		○	○				○		電源を切ってからガス栓を全開にする。	12
給水元栓の開きふじゅうぶん。	○	○	○				○		給水栓をいったん閉じてから給水元栓を全開にする。	12
水圧が適切でない。	○	○	○				○	○	点検、修理を依頼する。 (他に原因がないとき)	—
水フィルターのつまり。	○	○	○				○		つまり除去又は点検、修理を依頼する。	30
断水している。	○	○							使用をいったん中止する。	6
凍結している。	○								解凍するまで使用を中止する。	—
バーナの逆火。						○			点検、修理を依頼する。	—
湯温調節が適切でない。			○						「使いかた」参照。	13
給湯栓の開き不足。	○	○	○						給湯栓を全開にする。	12 13
水量センサーの故障。	○	○					○		点検、修理を依頼する。	—
停電している。	○	○			○		○		「停電時の処置」参照。	6
漏電安全装置が作動している。	○	○			○		○		「故障かな?と思ったら」参照。	35
リモコンの優先スイッチを押していない。					○				「給湯・シャワー」参照。	13

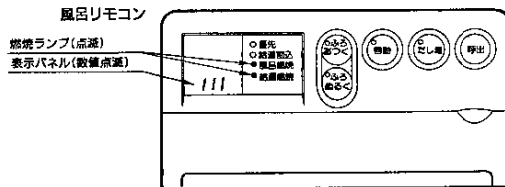
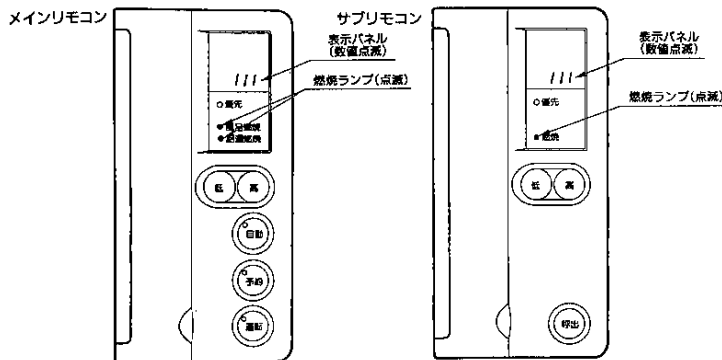
●処置や原因がわからないときや、このほかに異常のある時は、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



使用されていた浴槽の取替をされたとき(特に浴槽の大きさを変えられたとき)や、浴槽の位置を変えられたときなどは、水位が不安定になります。こんなときはお買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

■故障表示(OKモニター)について

●風呂リモコン、メインリモコン サブリモコンには、器具本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる故障表示(OKモニター)機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ちます。



(例)



●不具合が発生すると、図のように燃焼ランプが点滅しはじめ、表示パネル中に数値が表示点滅します。

●表示パネルにどのような数値が表示されているか確認してください。

●次頁に故障表示(OKモニター)番号を記載していますので、表示された数値と一致する番号をさがしてください。

●図のように表示パネルが|||と表示しているときは、故障表示(OKモニター)の「給湯バーナ点火せず」が原因であることが判ります。

故障かな?と思ったら

●故障表示(OKモニター)

パネル表示	内 容	処 置 方 法
002	試運転時浴槽に残水あり	浴槽の水を完全に排水して、運転スイッチをいったん「切」、再操作
030	浴槽排水栓の抜け	浴槽排水栓をしっかりとしめて、運転スイッチをいったん「切」、再操作
052	風呂水流スイッチ5分間「OFF」のまま	浴槽、排水栓確認、自動運転操作
111	給湯バーナ点火せず	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
112	風呂バーナ点火せず	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
121	給湯バーナ途中消火	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
122	風呂バーナ途中消火	ガス栓を全開にして、運転スイッチをいったん「切」、再操作
161	給湯温度測定装置系統の不具合	運転スイッチをいったん「切」、再操作
162	風呂温度測定装置系統の不具合	運転スイッチをいったん「切」、浴槽の湯をぬるくしてください。再操作
252	風呂水流スイッチ系統の不具合	※
311	給湯サーミスタ系統の不具合	※
321	給水サーミスタ系統の不具合	※
342	風呂サーミスタ系統の不具合	※
351	ミキシングサーミスタ系統の不具合	※
432	水位センサ系統の不具合	運転スイッチをいったん「切」、再操作
610	ファン系統の不具合	※
661	ミキシングバルブ系統の不具合	※
710	電装系統の不具合	※
760	リモコン系統の不具合	※

●処置後も故障表示をくり返すときや、上記以外の表示、または※印の場合はお買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。

●安全装置の種類とそのはたらき

①立消え安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

②過熱防止装置

使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

③空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

④過昇温安全装置

この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約95℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

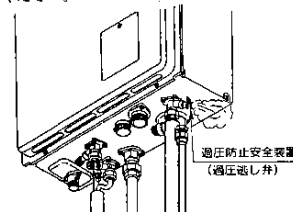
⑤漏電安全装置(漏電しゃ断器)

この器具は、万一漏電した場合に漏電安全装置が働いて使用できなくなります。この場合、電源コードのプラグを一度抜き差ししてからご使用ください。再度同じ現象が起きたときは、お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社へご連絡ください。

⑥過圧防止安全装置(過圧逃し弁)

器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がボクボク出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には器具下方をぬらしますので不都合が生じるときには過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。

●屋内設置型は、床面をぬらさない様に過圧防止安全装置(過圧逃し弁)に付いているチューブにより支障のない所へ排水処理してください。



⑦凍結予防装置

28・29ページの「凍結予防のしかた」の項をごらんください。

ご注意

空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

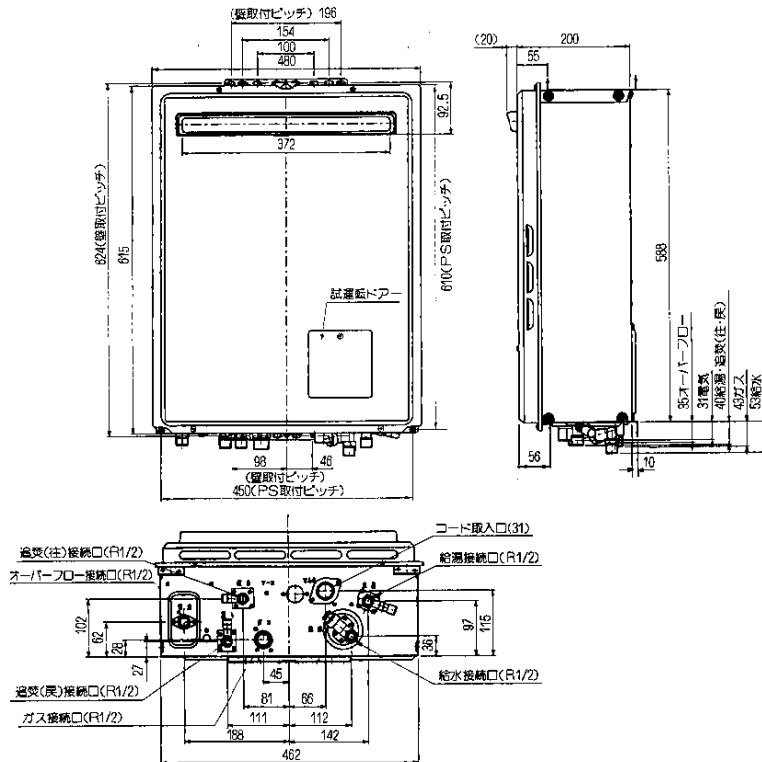
仕様

品名	ガス風呂給湯器(強制循環タイプ) わくわく18				
商品コード	31-722型	31-723型	31-724型	31-725型	31-726型
種類	先止め式				
給(出)湯方式	強制給排気式				
給排気方式	屋外式				
設置方式	屋外設置方式				
屋内設置方式	屋内設置方式				
排気温度(℃)	260以下				
排気筒(φ)	φ80				
排気筒(φ)	φ80				
給気・排気φ80					
点火方式	連続スパーク、ダイレクト着火				
最低作動水量(L/分)	2.5(作動水压0.15kgf/cm ²)				
外形寸法(mm)	615×480×200				
重量(本体)(kg)	38				
接続	給水	15A(R1/2)			
	給湯	15A(R1/2)			
	風呂	15A(R1/2)			
	ガス	15A(R1/2)			
電気関係	電源(V)	AC100			
	消費電力(W)@100V	160	160	180	190
	凍結予防運転時	180W			
安全装置	立消え安全装置(フレームロッド方式)、水量センサー				
	過熱防止安全装置、空だき安全装置				
付属品	過昇温安全装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置(漏電しゃ断器)				
	凍結予防装置(水抜き栓、凍結予防ヒータ・ポンプ)				
別売部品	31-722	●メインリモコン ●風呂リモコン ●壁貫通パイプ ●風呂配管継手			
	31-727	●取付説明書(31-727のみ) ●フレキシブル管 ●取扱説明書 ●工事説明書			
	31-723	●保証書 ●排気オリフィス(31-727のみ)			
	31-724	●メインリモコン ●風呂リモコン ●風呂配管継手 ●取扱説明書			
	31-725 31-726	●工事説明書 ●保証書 ●取付説明書(31-723以外)			
使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量(kcal/h)			出湯能力L/分(ガス消費量最大時)	
	同時使用時	給湯	風呂	25℃	40℃
都市ガス	13 A	42,000	30,000	12,000	16.0
LPGガス		3.5kg/h	2.5kg/h	1.0kg/h	16.0

備考 ●出湯能力は給水圧力1.5kgf/cm²のとき。
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

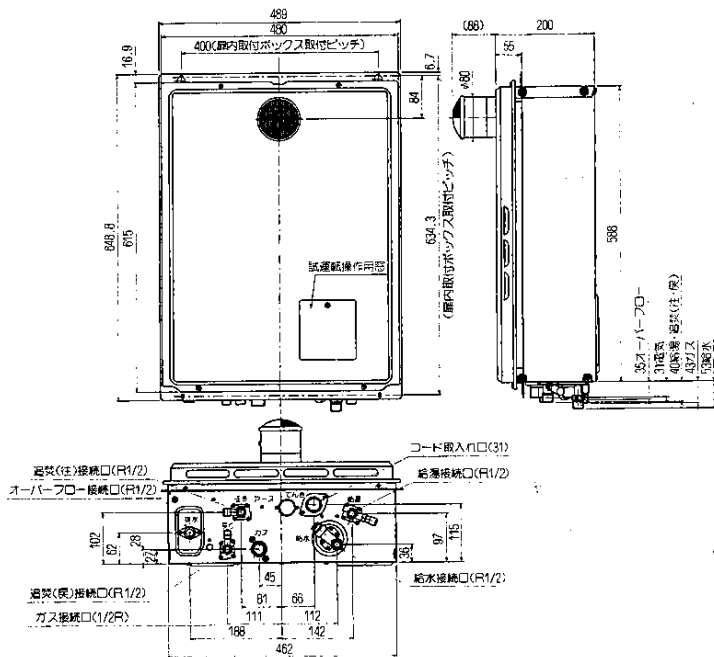
寸法図

器具本体 (31-722・723型)

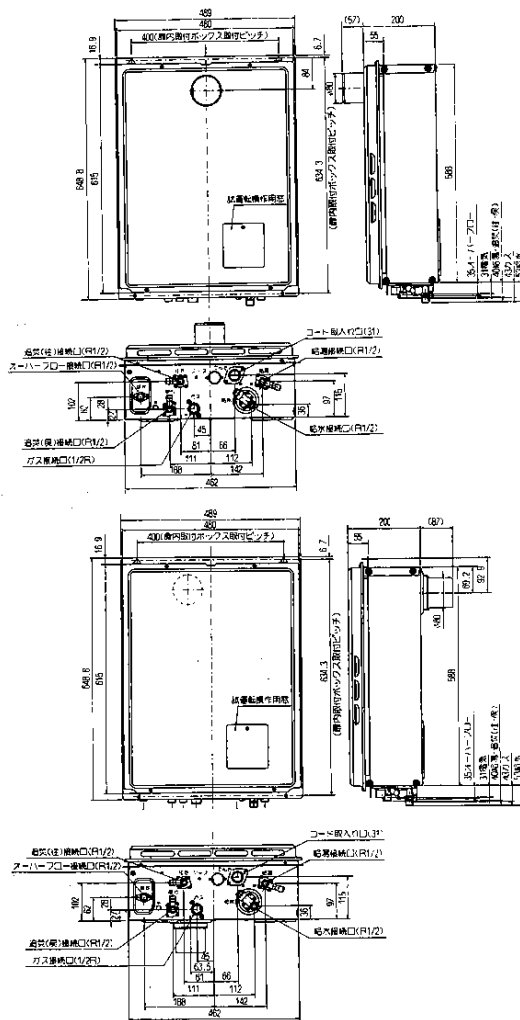


寸法図

(31-724型)



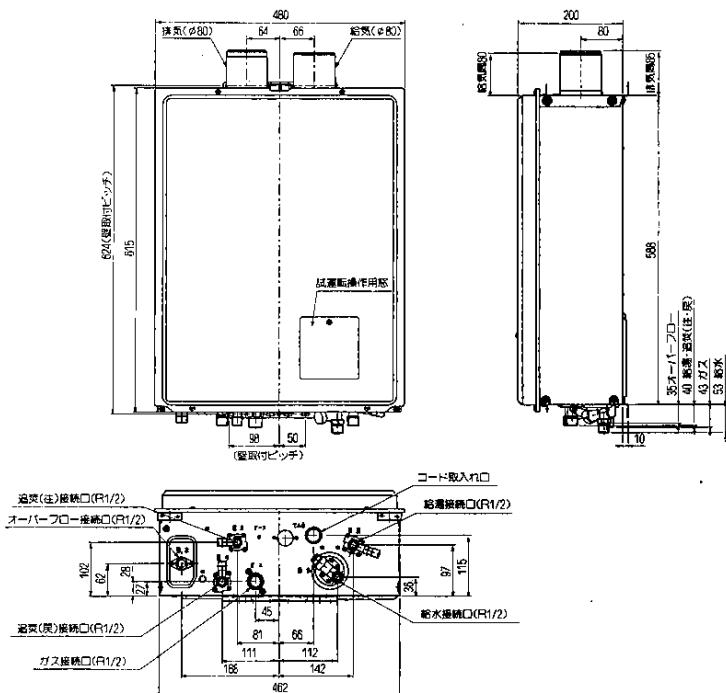
(31-725型)



(31-726型)

寸法図

(31-727型)



アフターサービス

サービスのお申し込み

- 31～35ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
 - 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は自分で修理なさらないでお買求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名……ガス風呂給湯器
2. 大阪ガス商品コード…器具の前面右下に貼付してあります。

例

(N)31-722(U)

大阪ガス株式会社 **07**

3. 現象……(できるだけ詳しく)

● 表示パネル(故障表示34ページ参照)が表示している数値をお知らせください。

4. 道順……(できるだけ詳しく)

転居されるとき

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

保証・補修について

- 保証期間中は……

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

- 保証期間経過後の故障修理について

お買求めの販売店、またはよりの大阪ガス支社にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

